



アジ研のある地区を回るゴミ収集車。車体に描かれているのは、市内を流れる思川（おもいがわ）と桜の花です。

3月に入りましたが、まだまだ寒い日々が続いています。実習生の皆さんとの「きょうも さむいねー。」「はい、そうですねー。」こんな会話が、もうしばらく続きそうです。

今年の冬は大雪の日が何度かあったので、「ゆきかき」「ゆきだるま」「ゆきがっせん」と、雪にちなんだ言葉が例年になくたくさん実習生の皆さんから聞こえてきたような気がします。そんな寒さの中でしたが、インフルエンザやノロウイルス等に感染した実習生は、これまで1人もでていません。日本語講師・スタッフ一同、ほっとしております。しかし、油断は禁物。引き続き「うがい・手洗いの習慣化」・「十分な睡眠時間の確保」「バランスの取れた食事の摂取」を呼びかけ、残り僅かとなった冬を、実習生の皆さんが無事に乗り切っていけるようサポートしていきたいと思ひます。

## あじけんスコープ Vol.20 ～実習生の実態・ゴミの分別！～

今回はゴミの分別での困った問題です。ゴミの分別に関しては、技能実習が始まってからも、トラブルになることが多いと聞いています。そこで、本校では、実習生の皆さんが、本研修センターで生活している間、ゴミの分別やゴミ出しのルールを守ることの大切さを理解し、習慣として身に付けられるように、入寮時のオリエンテーションだけでなく、ゴミ収集日には毎回本校スタッフが立ち会い、継続的に指導に当たっています。それでも、正しく分別できない実習生が後を立ちません。正に「イタチごっこ」状態ではありますが、『継続は力なり』、今後とも諦めずに、粘り強く指導に当たっていきたくと思っています。



普段は「笑顔の管理人」高見さんも、ゴミの日の「厳しい高見さん」に変身！分別できていない場合その場で再分別！「厳しさも愛」です

## 今月の実習生



中華人民共和国出身：王萌（オウ モウ）さん

今月の実習生は、ちょっと悲しそうな表情の中国人実習生・王萌（オウ・モウ）さんです。彼はどうして悲しそうな顔をしているのでしょうか？ヒントは彼が手にしている「レギュラーコーヒー」の缶にあります。実は王さん、スーパーでインスタントコーヒーを買ったつもりが、開けてびっくり！中身はレギュラーコーヒーだったのです。それでも、もちろんフィルターもコーヒーメーカーも持っていないので、飲むに飲めず・・・翌日、教務室に相談に来たという訳です。既に開封してしまっているので返品も出来ません。教務室に居合わせた先生方で、知恵を絞った結果、教務室に買い置きしてあるインスタントコーヒーと物々交換することになりました。レギュラーコーヒーとインスタントコーヒーの物々交換、王さんは少し損をした結果となってしまいましたが、それは授業料！日本語を読むことで情報収集することの大切さを身をもって体験出来たのだから、安いものかもしれません(笑)。

王さん、今度コーヒーを買う時は、必ず「インスタントコーヒー」と書いてあるものを買ってくださいね！

# あじけん流日本語授業

今回は、多国籍（4ヶ国：フィリピン人2名・タイ人3名・インドネシア人2名・ベトナム人3名）の実習生の皆さんで構成されているクラスで行なわれた「異文化理解を通じたコミュニケーション活動」の例をご紹介します。まずは、それぞれの出身国ごとにペア（グループ）になり、自分達の国で良く使われているジェスチャーについて話し合い、他の国から来た人たちに紹介するジェスチャーを選びます（STEP1）。次に各グループごとに教室の前に出てきて、自分たちが選んだジェスチャーを披露、他の実習生の皆さんは、それらのジェスチャーの意味を当て合います。この活動はゲーム的な要素も強く、大いに盛り上がる活動となりました。その後、同じ意味でも国ごとにジェスチャーが異なる例を紹介し合う活動（STEP3）も行ないました。こちらの活動は、「自分達の国の文化を他の国の実習生にも知ってもらいたい」と願う気持が発話への強いモチベーションとなり、いつもよりも積極的に発話する実習生が目立ちました。なお、下の3枚の写真のジェスチャーは、全て目上の人に対して挨拶する時のジェスチャーだそうです。国によって異なっていたり、同じだったり（STEP2の写真のジェスチャーは、フィリピンでの目上の人に対する挨拶時のものなので、インドネシアでのジェスチャーと全く同じ!）と、実習生の皆さんも興味津々でした。最後は、両腕を真っ直ぐ伸ばし、体の両脇にぴったり付けてお辞儀する日本流の目上の人に対する挨拶の仕方も紹介し、皆で練習をしました。

## STEP 1 : 各国ごとの話し合い



## STEP2 : ジェスチャー披露



## STEP3 : 目上の人に対する挨拶

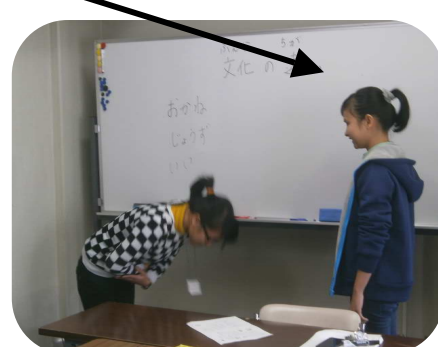
目上の人



インドネシアの場合



タイの場合



ベトナムの場合

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。